

第 69 回接続料の算定等に関する研究会の議論を踏まえた  
ソフトバンク株式会社への追加質問及び回答  
(5G (SA方式) 時代におけるネットワーク提供に係る課題の検討関係)

問 1 MNO 各社の説明資料において、国際ローミング標準化がこの春に完了するであろうことが示されているが、標準化完了後は事業者間協議が大きく前進し、協議の進展が早まることが期待できるという理解で良いか。  
(佐藤構成員)

(ソフトバンク回答)

- MVNO 殿からの要望については意見交換をしていますが、今後、MVNO との接続の検討のベースとなる 5GSA での国際ローミング機能の国際標準化が決定後、当社とベンダー間での仕様の調整等が進展することで、MVNO との協議においても、より現実的かつ具体性の高い議論ができるものと考えます。

問 2 一般社団法人テレコムサービス協会MVNO委員会説明資料(議題3 関係) P.6 で、網改造料の情報が提供されず、サービス開始が遅れる可能性が示されている。網改造料に関する情報は、今後、どのようなスケジュールで開示される予定か示してください。現時点で示すことができない場合は、できない理由とどのような条件が整うことで時期を示すことができると考えられるかお示してください。

(佐藤構成員)

(ソフトバンク回答)

- 網改造料に関する情報提供の要望を頂いていますが、まず、接続構成、インターフェースの仕様の調整、MVNO 殿との接続にあたり当社側に必要な接続装置の調達・機能開発等が定まらなければ、ベンダーからの具体的な費用の見積もりを行うことができず、当社としても網改造費用を算出することは困難です。
- 網改造費用を算出するスケジュールとしては、国際標準化が決定し MVNO 殿と開発内容等の意識合わせした後、事前調査申込を提出いただいてから約 4 か月程度(当社相互接続ガイドブックでの標準的期間)で見積を提示できるものと考えています。

問 3 株式会社NTTドコモ説明資料 P.2 における 2nd Step が、貴社において現在どのような時間軸で進んでいるのか、2nd Step を幾つかに分けて(N

TTドコモは5つ) お示ください。

(佐藤構成員)

(ソフトバンク回答)

- NTTドコモ殿資料のp2における2nd Stepベースであれば、弊社は2nd-①の協議を開始したところであり、2nd-②は継続協議をしつつ、今後国際標準化が定まり次第、2nd-③・2nd-④へ移行していく想定でいます。

問4 株式会社NTTドコモ説明資料P.2における3rd Stepが、貴社において今後どのような時間軸で進むことが期待できるのか、NTTドコモが2nd Stepを5つに分けたように、3rd Stepを幾つかに分けて具体的にお示ください。

(佐藤構成員)

(ソフトバンク回答)

- NTTドコモ殿資料P2における3rdStepは、開発費用・期間等の見積もりに関するものと認識しています。
- 問2にてご回答の通り、当社としては、2rdStepでMVNOと開発内容等の意識合わせした後、事前調査申込を提出いただいてから約4か月程度(当社相互接続ガイドブックでの標準的期間)で見積を提示していくことを想定しています。
- なお、当社からの事前調査申込み回答を踏まえ、正式に接続申込みを頂き次第、NTTドコモ殿資料P2における4rdStepに移行していく想定です。

